

# メモリハイコーダMR8880で耐圧試験器のアナログ出力を記録する方法

日置電機株式会社

## ★設定内容

- ・CH1で電圧、CH2で電流
  - ・測定電圧: 1kVで10mV出力
  - ・流れた電流: 1 $\mu$ Aで10mV、
  - ・トリガ: 不使用
  - ・記録間隔10ms
  - ・記録時間: 20秒間
- の場合、リアルタイムモードの設定の測定設定、全CH一覧のページで以下のように設定します。

測定設定画面

各CH設定画面

## ☆ポイント

・測定モードはリアルタイムにして、記録間隔を10ms、連続記録: OFFで記録時間を20秒にします。記録時間は必要に合わせて変更してください。1秒単位で記録時間の変更ができます。

・測定レンジの変更で測定範囲を変えることができます。

電圧: 10mVの時には10kV、20mVの時には20kVなど

電流: 10mVの時には10 $\mu$ A、20mVの時には20 $\mu$ Aなど

・記録データにノイズが載る場合には、L.P.F(ローパスフィルタ)の設定をします。5Hz、50Hz、500Hz、5kHz、50kHzから選択できます。この設定値は、サンプリングスピードよりも速い設定にする必要があります。

※上記の内容は一例として示しています。試験器の仕様、測定環境に応じて設定は変更してください。